

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【オン】地域ビジネス特講Ⅰ		
担当者(Instructors)	谷口 正博	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業は、地域ビジネスの仕組みと実務の流れを知り、今日の地域ビジネスの理論と仕組みを学習する。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式 レポート課題を設定し、それに回答する形で各回の授業を進行する

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本授業の概要	<input type="checkbox"/>
第2回	地域ビジネスとは	ローカルな小商いから、その地域特性を活かしたビジネスまで多岐に広がり、可能性ある地域ビジネスについて	<input type="checkbox"/>
第3回	魅力ある「地域」「ビジネス」の創造	魅力とは元々在ったものか否か 創造される魅力とは	<input type="checkbox"/>
第4回	魅力ある「地域」「ビジネス」の展開	その独自性から、地域内外の人々へ訴求力を獲得した事例などの紹介	<input type="checkbox"/>
第5回	各地域特性の分析	地域の区切り・スケールにより視えてくる状況の相違 分割された地域ごとの特性	<input type="checkbox"/>
第6回	各地域特性の相違	距離的に・心理的に「近い」あるいは「遠い」地域 ペリフェリー（辺縁）感覚の分析	<input type="checkbox"/>
第7回	地域と周辺 地域と中心	都心、都会、都市、郊外、田舎 各地域に暮らす人々の想い、憧れ、嫉妬、偏見	<input type="checkbox"/>
第8回	シビックプライドと地域ビジネス	地域の自慢、誇りを活用する 地域の自慢、誇りを開発する	<input type="checkbox"/>
第9回	地域の使い方、用途変更	時代に沿わなくなった地域、その場の使い方を変えることによる、 ビジネス展開の可能性	<input type="checkbox"/>
第10回	インバウンドと地域ビジネスコンテンツ①	持続的な観光人口増加に向けて、各地域が取り組むプロモーション と観光コンテンツ事例	<input type="checkbox"/>
第11回	インバウンドと地域ビジネスコンテンツ②	持続的な観光人口増加に向けて、各地域が取り組むプロモーション と観光コンテンツ事例	<input type="checkbox"/>
第12回	地域社会プロモーションコンテンツ①	持続的な地域社会実現、定住人口獲得に向けて、各地域が取り組む プロモーションコンテンツ事例	<input type="checkbox"/>
第13回	地域社会プロモーションコンテンツ②	持続的な地域社会実現、定住人口獲得に向けて、各地域が取り組む プロモーションコンテンツ事例	<input type="checkbox"/>
第14回	地域社会プロモーションコンテンツ③	持続的な地域社会実現、定住人口獲得に向けて、各地域が取り組む プロモーションコンテンツ事例	<input type="checkbox"/>
第15回	地域ビジネスのまとめ	レポート提出と発表	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回の授業内容に沿った地域ビジネス・地域デザイン関連分野について調べ、ノート、テキストデータにまとめる。（事前学習2時間程）配布資料、授業内容を振り返り要点をまとめた資料作成。（事後学習2時間程）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回のレポート課題に授業内で回答する

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	企業社会を社会全体との関連で幅広く思考し、多面的な判断の上、自分の考えを発信できる。
主体性	◇ 2019地域ビジネスDP3	様々な個性・利点・問題点を抱えた地域におけるビジネスを通じ、多様な人々と協働し、地域とつながり地域社会の活性化・発展に貢献できる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
		40%	60%	

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	各回の資料データを配布する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		